



平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場会社名 株式会社アイメタルテクノロジー
 コード番号 5605 URL <http://www.imetal.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部門統括
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 大岡 信一

(氏名) 齋藤 誠

TEL 029-831-1791

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,442	△71.8	△1,780	—	△1,843	—	△1,138	—
21年3月期第1四半期	15,744	—	747	—	625	—	250	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△25.39	—
21年3月期第1四半期	5.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	47,231	19,031	40.3	424.39
21年3月期	47,123	20,134	42.7	448.99

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 19,031百万円 21年3月期 20,134百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	12,300	△61.6	△2,000	—	△2,300	—	△1,400	—	△31.22
通期	31,300	△35.9	△1,800	—	△2,200	—	△1,350	—	△30.10

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 45,000,000株 | 21年3月期 | 45,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 156,527株 | 21年3月期 | 156,313株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 44,843,581株 | 21年3月期第1四半期 | 44,845,841株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 平成22年3月期の配当予想額は未定であります。配当予想額は、予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、昨秋以降の世界的な金融危機の影響により企業の生産、輸出が急減し、景気は底入れの状況にあると思われませんが、引き続き予断を許さない厳しい状況が続いております。

当社グループの得意先もかかる影響を受け、需要先別の当第1四半期の売上高は以下のとおりとなりました。

(需要先別内訳)

(単位 売上高：百万円、構成比・増減率：%)

	当第1四半期 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日		前第1四半期 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日		前年同四半期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高増減額	増減率
自動車用部品	4,078	91.8	13,492	85.7	△ 9,414	△ 69.8
建設機械及び 一般産業用部品	364	8.2	2,251	14.3	△ 1,887	△ 83.8
計	4,442	100.0	15,744	100.0	△ 11,301	△ 71.8

各需要先からの受注激減の結果、当第1四半期の売上高は44億42百万円（前年同四半期157億44百万円の71.8%減）となり、グループ一丸となって生産効率向上、経費節減などに取り組んだものの、固定費吸収には至らず、営業損失17億80百万円（前年同四半期7億47百万円の営業利益）、経常損失18億43百万円（前年同四半期6億25百万円の経常利益）、四半期純損失11億38百万円（前年同四半期2億50百万円の四半期純利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(a) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億37百万円増加し、117億24百万円となりました。これは主として、借入をおこなったため現金及び預金が24億32百万円増加したのに対し、売上高の減少による受取手形及び売掛金が14億69百万円、たな卸資産が6億11百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億29百万円減少し、355億6百万円となりました。これは主として、有形固定資産が3億3百万円減少し、投資その他の資産が1億74百万円増加したためであります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1億7百万円増加し、472億31百万円となりました。

(b) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて39億1百万円減少し、118億27百万円となりました。これは主として、その他に含まれている設備関係支払手形及び設備関係未払金が25億13百万円、仕入高の減少により支払手形及び買掛金が8億97百万円、短期借入金を長期借入金へ借換えたことなどにより8億76百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて51億13百万円増加し、163億72百万円となりました。これは主として、長期借入金の70億円の借入実施により54億54百万円増加したことによります。

(c) 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて11億3百万円減少し、190億31百万円となりました。主な要因は四半期純損失11億38百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は現地では、概ね当初見込みどおり推移しており、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に関しましては、平成21年5月15日発表の決算発表時点と変更ありません。

なお、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法をとっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,239,483	1,807,059
受取手形及び売掛金	2,589,616	4,058,690
製品	1,840,245	2,390,346
仕掛品	306,280	303,894
原材料及び貯蔵品	948,285	1,011,599
その他	1,801,355	1,916,737
貸倒引当金	△852	△1,056
流動資産合計	11,724,415	11,487,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,964,122	13,140,705
機械装置及び運搬具(純額)	9,632,952	10,102,114
土地	6,726,256	6,726,256
その他(純額)	4,685,468	4,342,793
有形固定資産合計	34,008,799	34,311,870
無形固定資産		
その他	30,201	30,855
無形固定資産合計	30,201	30,855
投資その他の資産		
投資有価証券	1,151,215	1,057,031
その他	319,210	239,009
貸倒引当金	△2,600	△2,600
投資その他の資産合計	1,467,825	1,293,441
固定資産合計	35,506,827	35,636,167
資産合計	47,231,242	47,123,437
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,682,406	3,579,709
短期借入金	5,062,160	5,938,580
未払法人税等	53,069	2,984
その他	4,029,857	6,208,095
流動負債合計	11,827,493	15,729,369
固定負債		
長期借入金	13,951,860	8,497,360
退職給付引当金	523,166	549,902
その他	1,897,694	2,212,425
固定負債合計	16,372,720	11,259,688
負債合計	28,200,213	26,989,058

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,000	1,480,000
資本剰余金	9,510,553	9,510,553
利益剰余金	6,389,136	7,527,546
自己株式	△18,159	△18,121
株主資本合計	17,361,530	18,499,978
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39,452	20,662
繰延ヘッジ損益	△59,043	—
土地再評価差額金	1,920,161	1,920,161
為替換算調整勘定	△231,072	△306,422
評価・換算差額等合計	1,669,498	1,634,401
純資産合計	19,031,028	20,134,379
負債純資産合計	47,231,242	47,123,437

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	15,744,116	4,442,471
売上原価	13,985,392	5,723,700
売上総利益又は売上総損失(△)	1,758,723	△1,281,229
販売費及び一般管理費	1,011,328	498,839
営業利益又は営業損失(△)	747,395	△1,780,068
営業外収益		
受取配当金	8,538	4,588
固定資産賃貸料	13,534	14,710
持分法による投資利益	1,800	—
その他	6,846	12,370
営業外収益合計	30,721	31,669
営業外費用		
支払利息	46,144	65,379
シンジケートローン手数料	71,281	5,245
持分法による投資損失	—	5,571
その他	34,809	19,228
営業外費用合計	152,234	95,424
経常利益又は経常損失(△)	625,881	△1,843,823
特別利益		
固定資産売却益	—	53
特別利益合計	—	53
特別損失		
固定資産除却損	7,511	3,696
たな卸資産評価損	79,134	—
特別損失合計	86,646	3,696
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	539,235	△1,847,466
法人税等	288,538	△709,057
四半期純利益又は四半期純損失(△)	250,696	△1,138,409

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）
該当事項はありません。

6. 【生産、受注および販売の状況】

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績を示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
自動車用等関連部品製造事業	2,781,854	△82.4
計	2,781,854	△82.4

(注) 金額は販売価格に換算しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結会計期間の受注実績を示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
自動車用等関連部品製造事業	5,572,849	△65.8	3,766,041	△55.8
計	5,572,849	△65.8	3,766,041	△55.8

(注) 金額に、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
自動車用等関連部品製造事業	4,442,471	△71.8
計	4,442,471	△71.8

(注) 1 主な相手先の販売実績および総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
いすゞ自動車株式会社	11,819,312	75.1	3,557,529	80.1

2 金額に、消費税等は含まれておりません。